

令和５年度 第１回千葉市文化財保護審議会議事録

- 1 日 時 令和６年３月２８日（木）午前１０時～１２時
- 2 場 所 千葉市役所本庁舎 L401 会議室
- 3 出席者 （委員）
小関悠一郎委員（会長）、菅根幸裕委員（副会長）、
吉村稔子委員、藤木竜也委員、神谷睦代委員
（事務局）
齋木生涯学習部長、君塚文化財課長、蚊谷文化財課新博物館整備室長、横山文化財課長補佐、その他事務局職員

4 議 題

- （１）会長・副会長の選任について
（２）寒川神社所蔵「大舟の飾り幕」の指定について（諮問）

5 報告事項

- （１）「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関する報告
（２）市指定文化財「旧生浜町役場庁舎」の管理に関する報告
（３）市指定文化財の指定候補について（「金光院の板碑」）
（４）加曽利貝塚新博物館整備事業に関する報告

6 会議経過

会長・副会長の選任までの間の議事進行は君塚文化財課長が行い、議事録署名人を藤木委員に依頼し、了承を得た。

[議題（１）会長・副会長の選任について]

千葉市文化財保護条例第 20 条の規定に基づく互選により、会長に小関悠一郎委員、副会長に菅根幸裕委員が選任された。

[議題（２）寒川神社所蔵「大舟の飾り幕」の指定について（諮問）]

事務局より諮問に至る経緯について説明を行い、諮問書を小関会長に手渡しした。これを受けて、委員より以下の意見が出された。

（小関会長）指定時には、資料の点数を明記してほしい。

（吉村委員）法量の単位を統一する必要がある。

（小関会長）センチメートルに統一するのがいいのではないか。

（藤木委員）美術工芸品ではなく民俗文化財として指定するのであれば、本資料が祭礼時にどのような使い方をされたのかな

ど、民俗的な視点での考察を十分に行う必要がある。

（菅根委員）他市等での事例をみても、本資料は祭礼用具として貴重な資料であると判断することができる。民俗文化財としての指定で問題ないと考えられる。

（小関会長）今後の保存・活用を考える中で、祭礼時にどのような使い方をされたかなど、民俗的な視点での調査を進めてほしい。

（神谷委員）民俗文化財としての価値が高いことを、資料の説明に明記することが大切である。

意見が出された後、寒川神社所蔵「大舟の飾り幕」の指定について適当と認めるとの答申が示された。

〔報告事項（１）「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関する報告〕

「千葉市文化財保存活用地域計画」の作成状況に関して、事務局より報告を行い、委員より以下の意見が出された。

（菅根委員）文化財保存活用協議会の会長として補足したい。この計画作成の背景には、文化庁が観光立国や文化観光を推進していることがある。これらは、文化（保存）は手段、観光（活用）が目的となりがちであるが、これに迎合することは奨励できるものではない。

（神谷委員）千葉市の歴史文化の特徴を十分に掴んだうえで、計画で取り扱う文化財の範囲を考えたほうが良い。

（藤木委員）関連文化財群の構成文化財として、指定・登録文化財以外にも未指定文化財を広く対象にすることも重要である。

（小関会長）広義の文化財範囲をどういう風に取りまとめるかが課題であろう。伝統や郷土料理、地域イベントなど分類が難しいものもある。うまく市民の意見を汲み取り、わかりやすい説明・ストーリーを組み立ててほしい。

〔報告事項（２）市指定文化財「旧生浜町役場庁舎」の管理に関する報告〕

市指定文化財「旧生浜町役場庁舎」の管理に関して事務局より報告を行った。

〔報告事項（３）市指定文化財の指定候補について（「金光院の板碑」）〕

市指定文化財の指定候補「金光院の板碑」について事務局より説明し、

委員より以下の意見・質問が出された。

（小関会長）今回、指定にむけた準備を始めた契機は何か。

（事務局）1976年に千葉市教育委員会が刊行した『千葉市の文化財』にも掲載されており、市内最古であることは古くから知られていた。金光院所有の両界曼陀羅の県指定文化財への指定の際に、本資料が市立郷土博物館に寄託されたことを契機に、本市最古の板碑であること、県内でも最古級の板碑であること、金光院の創建に関わる資料でもあることを考慮し、改めて指定候補としての検討を始めた。

（菅根委員）本資料についての江戸時代の記録や由来書などはあるか。

（事務局）本資料に関するもっとも古い記録は、昭和34年に当審議会で実施した市内文化財の悉皆調査のものである。

[報告事項（４）加曽利貝塚新博物館整備事業に関する報告]

加曽利貝塚新博物館整備事業に関する入札の中止に関して、事務局より報告を行い、委員より以下の意見・質問が出された。

（菅根委員）入札の再公告に向けた条件の見直し方針とはどのようなイメージか。

（小関会長）開館スケジュールへの影響はどうか。

（事務局）敷地面積や施設規模・展示内容等は基本計画で決まっているため変更せず、予算的な規模や方式等の見直しを進めていく。令和10年度の開館は遅れるなど入札中止によるスケジュールへの影響は否めないが、史跡整備と博物館の整備が連動する形で進めていく。

（菅根委員）博物館関係者は注目しており、ぜひ実現していただきたい。

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部文化財課

T E L 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 6 2

F A X 0 4 3 - 2 4 5 - 5 9 9 2